

統計調査ニュース

令和5年（2023年）9月

No.442



教えてください。おうちのこと。
暮らしやすい未来のために、みんなの回答が必要です。

タレント 広瀬 アリス

令和5年住宅・土地統計調査では、広報イメージキャラクターとしてタレントの広瀬アリスさんをお迎えし、調査の実施を盛り上げていただいております。

広瀬アリスさんから応援メッセージをいただきましたので御紹介します。

みなさん、こんにちは。

この度、令和5年住宅・土地統計調査のイメージキャラクターに就任した広瀬アリスです。

いよいよ令和5年住宅・土地統計調査、「みんなのおうち調査」が始まりますね!

今回、イメージキャラクターの就任に当たり、住宅・土地統計調査のことを教えていただき、私たちの暮らしに役立てられている大切な調査であるということ学びました。

この調査で、「住宅」に関する耐震性や省エネルギー性能、高齢者の住まい方や空き家の状況など、様々な事柄を調べることで、これからの私たちの住生活がより豊かなものになると考えています。

テレビやラジオのCM、キャンペーンサイト、ポスターなどが一人でも多くの方々の目に触れ、住宅・土地統計調査の大切さが伝わるとうれしいです!

令和5年住宅・土地統計調査をぜひ成功させましょう!



①テレビCM



②ポスター

※キャンペーンサイトへのアクセスはこちらからどうぞ!!

<https://www.stat.go.jp/data/jyutaku/r5campaign/index.html>



目次

教えてください。おうちのこと。

暮らしやすい未来のために、みんなの回答が必要です。…………… 1

10月1日 住宅・土地統計調査を実施します!…………… 2

令和4年就業構造基本調査の結果の概要…………… 4

小売物価統計調査(構造編)2022年(令和4年)結果の概要…………… 6

「変化が見える、暮らしに役立つ」～3つの統計調査の広報～…………… 7

10月18日は「統計の日」、関連行事の紹介…………… 8

「令和5年度統計指導者講習会(中央研修)」を開催しました…………… 9

こども霞が関見学デー オンラインイベント

『わくわく! 統計アカデミー for KIDS 2023』を開催しました!

／令和5年10月3日(火)開講

「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中……………10

とうけい通信⑩

晴れの国おかやまの「美味しい」をお届けします!／岡山県……………11

10月1日 住宅・土地統計調査を実施します！

本年10月1日現在で令和5年住宅・土地統計調査を実施します。

前号では、調査員による調査活動の主な内容について御紹介しました。9月23日からはいよいよ調査対象世帯への調査書類の配布が始まります。

本号では、調査書類を受け取った世帯の調査への回答方法などを御紹介します。

◆調査への回答方法◆

回答方法は、インターネットによる回答のほか、調査票を郵送で提出する方法及び調査員に提出する方法があり、この調査では、便利なインターネット回答をお勧めしています。

①インターネット回答

配布された『インターネット回答利用ガイド』を用いて、「政府統計オンライン調査総合窓口」にログインし、HTML形式の「電子調査票」を表示して10月9日までに回答します。回答はパソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでも可能です。

また、今回の調査では、一時回答自動保存機能の導入、パスワードの初期化対応など、ログインした人が途中で回答を断念することなく、最後までスムーズに回答できるように工夫しています。



インターネット回答利用ガイド

「政府統計オンライン調査総合窓口」ログイン画面

電子調査票（イメージ）

②郵送で提出

記入した調査票を調査書類が入っていた封筒に入れ、封をした上で、10月9日までに郵便ポストに投函します。

③調査員に提出

調査員が各世帯を再訪問した際に、記入した調査票を調査員に渡します。その際、調査票を封筒に入れ、封をして調査員に渡すこともできます。その場合、調査員は封筒を開封せず、封をしたまま市区町村に提出します。



調査書類が入った封筒

コールセンターについて

調査対象世帯の皆様からのお問合せに対応するため、調査期間中は「住宅・土地統計調査コールセンター」を開設しています。コールセンターでは調査全般に関するお問合せのほか、インターネット回答に関するお問合せなどにも対応しております。コールセンターは土日・祝日も含めて午前8時から午後9時まで御利用いただけます。

住宅・土地統計調査コールセンター



0570-06-3939

IP電話の場合 03-6706-2482

※おかけ間違いのないようご注意ください。

設置期間 10月27日(金)まで(土日・祝日もご利用いただけます)

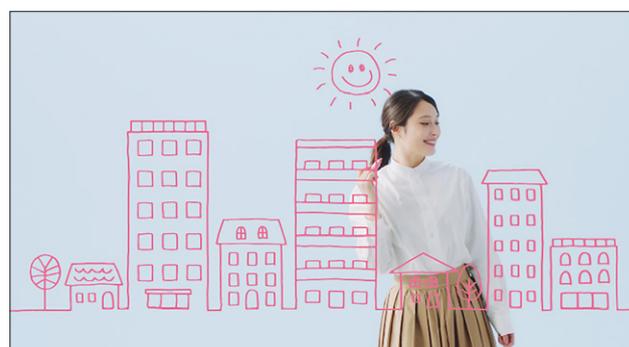
受付時間 午前8時～午後9時

※ナビダイヤルの通話料金は、固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話の場合、所定の通話料金となります。

「テレビCM」などについて

9月中旬から、全国で広瀬アリスさんが登場するテレビCM及びラジオCMを集中的に放送しています。広瀬アリスさんの明るく元気な呼びかけで、調査実施期間における調査の認知度・調査への理解度のアップを図っています。

【広瀬アリスさんが登場するテレビCM】



また、X(旧Twitter)やFacebookなどのSNSにおけるインターネット広告や新聞広告でも広瀬アリスさんが登場し、調査の実施を盛り上げていただいておりますので、皆様も是非チェックしてみてください!

調査の概要

この調査は、我が国における住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的としています。

今回の調査では、空き家対策の重要性が年々高まっていることを踏まえ、引き続き、空き家の所有状況などを把握するとともに、超高齢社会を迎えている我が国における高齢者の住まい方をよりの確に把握することを主な狙いとしています。

なお、この調査は昭和23年以来5年ごとに実施しており、今回の調査はその16回目に当たります。

令和4年就業構造基本調査の結果の概要

就業構造基本調査は、国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に、昭和31年（1956年）から昭和57年（1982年）まではおおむね3年ごと、昭和57年以降は5年ごとに実施しています。この度、令和4年就業構造基本調査の結果を令和5年7月21日に公表しましたので、その概要を紹介します。

1 15歳以上人口の就業状態

2022年（令和4年）10月1日現在の15歳以上人口について、就業状態別にみると、有業者¹⁾は6706万人、無業者は4313万人となっており、5年前に比べ、有業者は85万人の増加、無業者は163万人の減少となっています。（表1）

表1 男女、就業状態別15歳以上人口（2017年、2022年）－全国

(万人)

就業状態	男女	2022年			2017年			増減数		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
15歳以上人口		11019.5	5313.5	5706.1	11097.7	5354.3	5743.4	-78.2	-40.8	-37.3
有業者		6706.0	3670.6	3035.4	6621.3	3707.4	2913.9	84.7	-36.8	121.5
無業者		4313.5	1642.9	2670.6	4476.4	1646.9	2829.5	-162.9	-4.0	-158.9

1) 「有業者」とは、ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、調査日（2022年10月1日）以降もしていくことになっている者及び仕事は持っているが現在は休んでいる者のこと。

2 テレワーク実施の有無・頻度及びテレワーク実施の場所

有業者について、1年間のテレワーク実施の有無をみると、「実施した」が1265万人で、有業者に占める割合が19.1%となっています。テレワークを「実施した」者について、1年間の実施の頻度をみると「20%未満」が654万人で最も多く、次いで「80%以上」が226万人、「20～40%未満」が172万人などとなっています。（表2）

表2 職業大分類、テレワーク実施の有無・頻度、テレワーク実施の場所別
有業者数及び有業者に占める実施した割合（2022年）－全国

(万人、%)

職業	テレワーク実施の有無・頻度 テレワーク実施の場所	総数	実施した	実施した割合					自宅	サテライト オフィス	その他	実施して いない	有業者に占める 実施した割合
				20%未満	20～40% 未満	40～60% 未満	60～80% 未満	80%以上					
総数		6706.0	1265.1	654.3	172.1	119.0	87.4	226.5	1185.2	26.9	43.4	5370.8	19.1
管理的職業従事者		138.9	41.3	24.5	5.7	4.2	2.7	4.1	36.6	1.9	2.6	96.6	29.9
専門的・技術的職業従事者		1287.9	413.3	178.2	48.8	39.4	33.1	112.9	391.9	7.3	12.3	871.6	32.2
事務従事者		1454.9	456.2	237.0	67.2	44.4	32.0	74.8	442.8	5.9	6.0	994.9	31.4
販売従事者		777.9	180.7	101.9	31.0	17.8	9.8	19.4	167.7	5.4	6.7	592.9	23.4
サービス職業従事者		789.9	23.8	16.3	2.7	1.7	0.8	1.6	18.6	1.5	3.0	758.5	3.0
保安職業従事者		121.1	8.6	7.3	0.6	0.3	0.2	0.1	7.5	0.5	0.6	111.5	7.2
農林漁業従事者		177.6	3.7	2.0	0.4	0.4	0.4	0.3	2.9	0.1	0.5	170.9	2.1
生産工程従事者		834.6	69.3	45.6	8.1	5.0	3.3	6.9	62.7	1.7	4.1	758.9	8.4
輸送・機械運転従事者		219.2	8.8	6.2	0.7	0.6	0.6	0.4	7.0	0.4	1.1	208.6	4.0
建設・採掘従事者		252.4	23.7	17.5	2.9	1.3	0.8	0.8	20.2	1.0	2.1	226.4	9.5
運搬・清掃・包装等従事者		464.8	9.4	6.0	1.0	0.8	0.7	0.6	6.6	0.6	1.7	449.9	2.0

注) 有業者に占める実施した割合は「テレワーク実施の有無・頻度」が不詳の者を除いて算出している。

3 フリーランスの数

有業者のうち本業がフリーランス²⁾の数は209万人となっており、有業者に占める割合が3.1%となっています。年齢階級別にみると、「45～49歳」が24万人(有業者に占める割合3.0%)で最も多く、「50～54歳」が24万人(同3.0%)、「55～59歳」が22万人(同3.4%)などとなっています。(表3)

表3 年齢階級、フリーランスの本業・副業の別 別フリーランスの数及び有業者に占める割合(2022年) - 全国

(万人、%)

フリーランスの本業・副業の別 年齢	有業者数	フリーランスの数	フリーランスの本業・副業の別			有業者に占める本業がフリーランスの割合	
			本業がフリーランス	本業のみ	本業及び副業		
総数	6706.0	257.4	209.4	202.9	6.4	48.0	3.1
15～19歳	99.8	0.3	0.3	0.2	0.0	0.1	0.3
20～24歳	428.9	4.6	3.1	3.1	0.1	1.5	0.7
25～29歳	556.6	11.2	7.7	7.5	0.2	3.6	1.4
30～34歳	554.7	16.5	11.8	11.3	0.6	4.6	2.1
35～39歳	618.7	23.5	17.1	16.4	0.8	6.3	2.8
40～44歳	688.9	25.5	19.4	18.8	0.6	6.1	2.8
45～49歳	826.4	30.5	24.5	23.8	0.6	6.1	3.0
50～54歳	809.1	29.3	24.4	23.7	0.6	5.0	3.0
55～59歳	667.1	26.5	22.5	21.8	0.7	4.0	3.4
60～64歳	539.3	23.8	19.9	19.4	0.5	3.8	3.7
65～69歳	383.7	24.4	20.8	20.2	0.6	3.6	5.4
70～74歳	311.0	22.5	20.2	19.6	0.7	2.2	6.5
75歳以上	222.0	19.0	17.7	17.1	0.6	1.3	8.0

2) 「フリーランス」とは、実店舗がなく、雇人もいない自営業主又は一人社長であって、その仕事で収入を得る者のこと。

4 育児をしている者及び介護をしている者の就業状態

15歳以上人口について、就業状態及び育児の有無別にみると、育児をしている³⁾者は965万人となっており、このうち有業者は821万人となっています。(図1)

就業状態及び介護の有無別にみると、介護をしている⁴⁾者は629万人となっており、このうち有業者は365万人となっています。(図2)

図1 就業状態別育児をしている者の数及び育児をしている者に占める有業者の割合の推移(2012年～2022年) - 全国

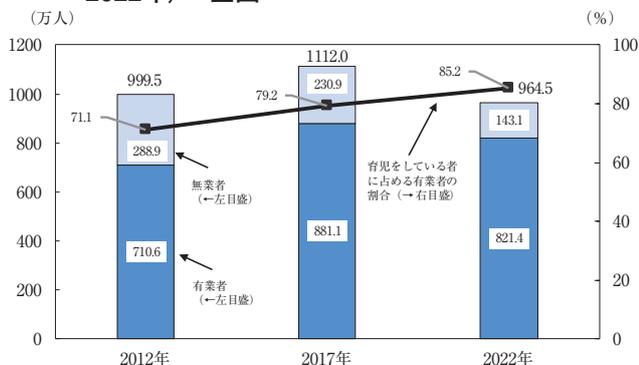
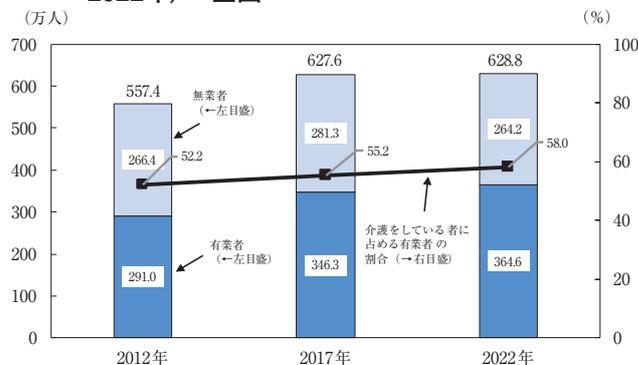


図2 就業状態別介護をしている者の数及び介護をしている者に占める有業者の割合の推移(2012年～2022年) - 全国



3) 「育児をしている」とは、小学校入学前の未就学児を対象とした育児(乳幼児の世話や見守りなど)をいい、孫やおい・めい、弟妹の世話などは含まない。

4) 「介護をしている」には、介護保険制度で要介護認定を受けていない人や、自宅外にいる家族の介護も含まれる。ただし、病気などで一時的に寝ている人に対する介護はこれに含まない。

小売物価統計調査(構造編)2022年(令和4年)結果の概要

地域別の物価を明らかにすることを目的とし、小売物価統計調査(構造編)において、消費者物価地域差指数を作成しています。この度、2022年結果を6月30日に公表しましたので、その概要を紹介します。

1 都道府県別の物価水準(総合)

2022年(令和4年)平均消費者物価地域差指数(全国平均=100)の「総合」を都道府県別にみると、東京都が104.7と最も高く、次いで神奈川県(103.1)、北海道(101.1)などとなっています。

一方、最も低いのは宮崎県(96.1)で、次いで群馬県(96.2)、鹿児島県(96.6)などとなっています。

物価水準が最も高い東京都と最も低い宮崎県との比率^(注)をみると、1.09倍となっています。また、指数が100以上の都道府県数は7都道府県となっており、そのうち4都県(埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県)が南関東の地域となっています。(表1-1、表1-2、図1)

(注) 比率 = $\frac{\text{指数が最も高い都道府県の指数}}{\text{指数が最も低い都道府県の指数}}$

表1-1 都道府県別の物価水準(総合) 上位及び下位3都道府県

(全国平均=100)

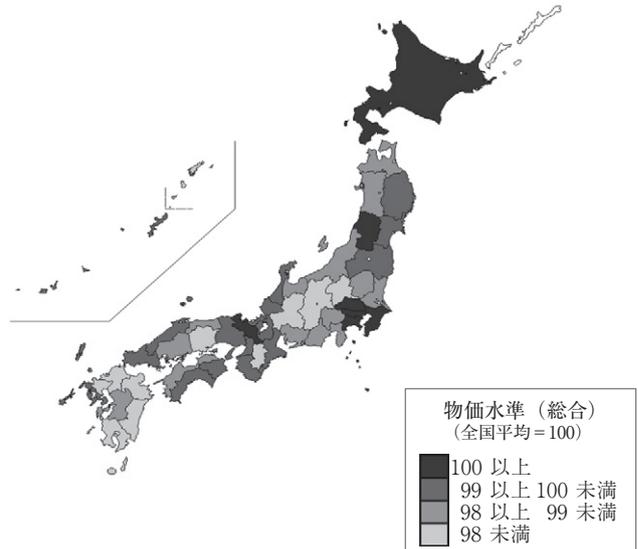
順位	都道府県	指数	順位	都道府県	指数
1	東京都	104.7	47	宮崎県	96.1
2	神奈川県	103.1	46	群馬県	96.2
3	北海道	101.1	45	鹿児島県	96.6

表1-2 都道府県別物価水準(総合)の推移

(全国平均=100)

		2019年	2020年	2021年	2022年
指数	最も高い	104.7	105.2	104.5	104.7
	最も低い	96.0	95.9	96.2	96.1
	比率	1.09	1.10	1.09	1.09
都道府県	最も高い	東京都	東京都	東京都	東京都
	最も低い	宮崎県	宮崎県	宮崎県	宮崎県
指数が100以上の都道府県の数		9	8	10	7

図1 都道府県別の物価水準(総合)



2 10大費目別の物価水準

10大費目別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との比率をみると、最も高い費目は「住居」で、東京都(130.7)の香川県(81.6)に対する比率は1.60倍となっています。次いで、比率が高い費目は「教育」で、和歌山県(124.5)は群馬県(78.6)に対し、1.58倍となっています。

一方、比率が最も低い費目は「交通・通信」で、東京都(102.9)の愛知県(97.6)に対する比率は1.05倍となっています。次いで、比率が低い費目は「保健医療」で、福井県(101.8)は宮崎県(96.1)に対し、1.06倍となっています。(表2)

表2 10大費目都道府県別の物価水準

(全国平均=100)

10大費目	指数(2022年)		比率				
	最も高い都道府県	最も低い都道府県	2022年	2021年	差(2022年-2021年)	差(2022年-2021年)	
総合	東京都	104.7	宮崎県	96.1	1.09	1.09	0.00
食料	沖縄県	105.3	長野県	95.5	1.10	1.09	0.01
住居	東京都	130.7	香川県	81.6	1.60	1.62	-0.02
光熱・水道	北海道	114.7	大阪府	90.6	1.27	1.25	0.02
家具・家事用品	福井県	104.1	沖縄県	93.3	1.12	1.11	0.01
被服及び履物	石川県	108.6	鹿児島県	92.1	1.18	1.15	0.03
保健医療	福井県	101.8	宮崎県	96.1	1.06	1.06	0.00
交通・通信	東京都	102.9	愛知県	97.6	1.05	1.06	-0.01
教育	和歌山県	124.5	群馬県	78.6	1.58	1.53	0.05
教養娯楽	東京都	105.4	宮崎県	92.1	1.14	1.13	0.01
諸雑費	神奈川県	105.0	沖縄県	91.1	1.15	1.15	0.00

小売物価統計調査(構造編)

<https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/index.html>

2022年(令和4年)結果

<https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/gaiyou.html>

「変化が見える、暮らしに役立つ」 ～3つの統計調査の広報～

総務省統計局では、毎年10月に労働力調査、家計調査及び小売物価統計調査の3つの統計調査を広く周知するための広報を行っています。

前年度に引き続き『変化が見える、暮らしに役立つ』をテーマに、新聞やインターネット広告を中心に統計調査の重要性を伝えていきます。

この広報のナビゲーターを務めるのは、総務省統計局イメージキャラクターであるセンサスくんのみらいちゃんです。幅広い世代の来店率・利用率が増加しているスーパーマーケットや飲食チェーンでのデジタル広告を活用するなど、新たな方法も取り入れながら、より多くの方々に3つの調査を知ってもらえるよう、センサスくんのみらいちゃんが積極的にPRします。

【主な広報内容】

媒体等	内容
新聞広告	(読売新聞) 全国版朝刊(令和5年10月計2回掲載)
インターネット広告	バナー広告 ・Yahoo!、SmartNews 動画広告 ・YouTube、Facebook、Instagram
スーパーマーケット広告	(イオン ^{*1}) ・イオンチャンネル(店頭動画広告) (マックスバリュ ^{*2}) ・ポスター掲示 ※1、2 各都道府県において、いずれかで実施
飲食チェーン広告	(スシロー) ・デジタルサイネージ(待合スペース動画広告)
統計局ホームページ	3つの統計調査の概要及び紹介 ・統計調査紹介ムービー(YouTube統計局チャンネルへのリンク) ・SNSでおなじみのアバターと吹き出しを用いて、幅広い世代の関心にデータで答える
YouTube 統計局チャンネル	センサスくん、みらいちゃんが調査の回答を呼びかけ ・動画(15秒及び60秒)

詳しくは統計局ホームページ <https://www.stat.go.jp/info/kouhou/keijyou.html> を御覧ください。

10月18日は「統計の日」、関連行事の紹介

統計の日とは

我が国で最初の近代的生産統計である「府県物産表」に関する太政官布告が公布された、明治3年（1870年）9月24日を現在の太陽暦に換算した10月18日を「統計の日」としています。

これは、統計の重要性に対する国民の皆様の関心と理解を深め、統計調査に対する国民の皆様のより一層の御協力を頂けるようにと、昭和48年（1973年）7月3日の閣議了解で定められました。

例年、総務省政策統括官（統計制度担当）では、関係府省、地方公共団体等と連携し、この「統計の日」を中心として、国民の皆様に統計の重要性をアピールし、統計調査への御協力を働きかけるための行事を実施しています。

なお、「統計の日」に関する詳細については、ホームページを御覧ください。

https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/info/guide/r5toukeinohi_kanren.html

統計データ・グラフフェア

令和5年（2023年）10月28日（土）～29日（日）、東京都新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」において統計データ・グラフフェアを開催します。

統計データ・グラフフェアでは、統計グラフ全国コンクールの入賞作品や各府省の統計調査に関する展示、各都道府県による統計データを用いた企画展示など、統計の面白さを感じていただける展示を行う予定です。是非御来場ください。

第71回全国統計大会

令和5年12月6日（水）、国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール（東京都渋谷区）において、第71回全国統計大会を開催します。

全国統計大会は、国、地方公共団体、統計関係団体などの統計関係者が一堂に会し、統計功労者への各省大臣表彰、「統計の日」標語の特選受賞者への表彰、統計グラフ全国コンクール特選受賞者への表彰を行うとともに、公的統計データを利活用し優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰「地方公共団体における統計利活用表彰」及び、統計データを分析し優れたアイデアと分析力を競う「統計データ分析コンペティション」における優秀作品への表彰を行う予定です。

第71回統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示会

第71回統計グラフ全国コンクール入賞作品を、前記の統計データ・グラフフェア及び第71回全国統計大会会場ロビーにて展示いたします。小中学生から一般の方まで、広く応募いただいた中から入選された、工夫を凝らした素晴らしい作品ばかりですので、是非御来場いただき、御観覧ください。

地方公共団体等主催の行事

《地方統計大会・統計功労者表彰式》

例年、各都道府県では、地方統計大会や統計功労者表彰式を開催し、統計功労者等の表彰、講演会等を実施しています。

《統計グラフコンクール入選作品展示会》

例年、各都道府県では、統計グラフコンクール入選作品の展示会を開催しています。

※ 詳細につきましては、各都道府県にお問い合わせください。

令和5年度「統計の日」ポスター

「統計の日」の周知を図り、統計への関心を深めてもらうため、「統計の日」のポスターを作成し、全国に配布し広く広報を行っています。今年度は、約9万枚作成し、各府省や都道府県に御協力をいただき、庁舎や公民館、小中学校、駅等の公共施設に掲示します。

また、毎年行っている「統計の日」標語の募集において、全国から応募いただいた標語10,268作品の中から特選に選ばれた埼玉県さいたま市立海老沼小学校5年 松澤 香奈さんの作品「統計は 未来を支える おくりもの」をポスターに活用しています。

なお、この「統計の日」のポスターのデザインや特選・佳作に選ばれた標語は、各府省や地方公共団体において、統計や統計調査に係る知識の普及を目的とした広報物、刊行物等に活用されるほか、業務で使用される封筒等にも印刷されるなど、幅広く活用される予定です。

令和5年度「統計の日」ポスター



「令和5年度統計指導者講習会(中央研修)」を開催しました

～統計指導者講習会とは～

総務省統計研究研修所では、小・中・高等学校教育の各段階における児童及び生徒に対する統計リテラシーを重視した統計教育の充実を図るため、統計指導に携わる教育関係者等を対象に「統計指導者講習会(中央研修)」を開催しています。

本年度の統計指導者講習会(中央研修)は、令和5年7月28日(金)に、ライブ配信にて開催しました。全国から実際に統計指導に携わる小・中学校及び高等学校の教諭等の方々に御参加いただきました。

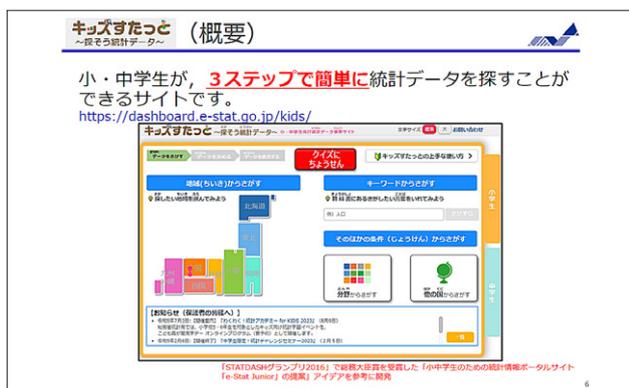
<講習会の内容>

○授業で使えるオープンデータの使い方

(講師：総務省統計局統計情報システム管理官補佐
角田 敏)

「RESAS(地域経済分析システム)」や「SSDSE(教育用標準データセット)」などの統計データの提供等を行っているサイトの紹介や、各府省が公表する統計を収録した「e-Stat(政府統計の総合窓口)」を活用した統計データの検索方法等について講義しました。

本講習会では、「e-Stat」に収録されているデータの種類やその探し方(分野別検索、キーワード検索、データベース機能など)のほか、便利な機能として「統計ダッシュボード」のグラフについて解説しました。また、地域(都道府県・市区町村)別に各種データが収録されている「社会・人口統計体系(SSDS)」を用いた地域別ランキングの表示方法、類似した地域間での比較方法や、小中学生向けの統計検索サイトである「キッズすたっと」の利用方法等について紹介しました。



(講義資料より)

○新学習指導要領が目指す情報活用力

(講師：立正大学データサイエンス学部教授
渡辺 美智子 氏)

新学習指導要領において求められる統計教育、統計的思考(科学的探求)力の重要性について、講義していただきました。

近年の人口知能(AI)の飛躍的進化により、雇用の在り方や学校教育において獲得する知識の意味も大きく変化しているといわれています。そのような中で、統計のリテラシー教育として、「数理・データサイエンス・AI」に関する基礎的な知識の習得に向けて、初等中等教育、高等教育、リカレント教育(社会人の再教育)の各段階において長期的に取り組むことが必要とされています。

本講習会では、課題の設定、必要なデータの収集・分析、分析結果を踏まえた課題解決を行う統計的思考力に関して、メジャーリーグにおいて本塁打の確率を高める打球の条件に関する分析として実際に使用されている事例(バレルの法則)などを解説していただきました。

○統計データを用いた学習指導案の作成

(講師：立正大学データサイエンス学部教授
渡辺 美智子 氏)

最後に、統計データを用いた学習指導案の作成のために、班別討議を実施しました。具体的には、児童及び生徒に何を学んでもらうか、どのような力を養ってもらいたいかを踏まえた上で、授業の目標を設定し、どのような統計データを用いて授業を展開していくのか具体的な学習指導案について討議しました。

討議終了後は、班ごとに学習指導案を発表して受講者全員で共有するとともに、渡辺教授及び統計研究研修所の市川宏教授から指導・助言をいただき、今後の授業の実践に当たって工夫すべき点や指導方法等について理解を深めました。

本講習会では、教育現場ですぐに実践できる内容や、今後の統計教育に必要な情報の活用方法について講義いただきました。今後とも都道府県、関係府省、教育関係団体等と連携・協力し、引き続き研修の拡充や充実を図りたいと考えています。今回の講習会が、今後の統計教育の実践の一助となることを期待しています。

〈問合せ先〉

総務省統計研究研修所管理・研修部研修企画課
TEL 042-320-5874
E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

こども霞が関見学デー オンラインイベント 『わくわく!統計アカデミー for KIDS 2023』を開催しました!

「こども霞が関見学デー」のプログラムの一つとして、統計局では小学校5・6年生を対象とした『わくわく!統計アカデミー for KIDS 2023』をオンラインで開催しました。



統計局では、8月9日(水)に、「統計」を身近に感じていただくことを目的として、『わくわく!統計アカデミー for KIDS 2023』をオンライン開催し、約40名のこどもたちに御参加いただきました。

参加したこどもたちは、身の回りの様々な事象を題材に統計学の基礎となる平均値や代表値などの説明やグラフの書き方などの説明を受けました。

また、小・中学生向け統計検索サイト「キッズすたっと〜探そう統計データ」を使用し、日本の総面積や日本一小さな県、日本一大きな市を調べる体験をしたほか、最後は「統計クイズ」を実施し盛り上がるなど、様々な視点から「統計」に触れました。

参加したこどもたちからは、「統計めっちゃめっちゃ大事だ!!」、「統計って日常生活にたくさんあふれているんだね!」、「こんなに勉強が楽しかったことはなかった」などの意見が寄せられ、多くの方に「統計」を身近に感じてもらうきっかけとなりました。



当日のイベントの様子

「キッズすたっと〜探そう統計データ」はこちらから
<https://dashboard.e-stat.go.jp/kids/>



令和5年10月3日(火)開講 「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中



総務省は、統計リテラシー向上のための取組として、「データサイエンス・オンライン講座」を開講しています。その講座の一つである「社会人のためのデータサイエンス演習」を令和5年10月3日(火)に開講します。

本講座では、行政やビジネスでの活用を想定した講座として、社会人や大学生に向けて、業務やビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析(統計分析)の手法を分かりやすく解説しています。

- 開講期間 令和5年10月3日(火)～12月12日(火) 予定
- 学習時間 1回10分程度×5～7回程度(1週間)×5週
これとは別に補講・演習を実施(10分程度×11回)
- 課題 各週の確認テストと最終課題の実施

どなたでも受講登録が可能(登録料及び受講料無料)ですので、是非、御活用ください。

(注) 本講座は、令和4年10月に一部内容をリニューアルし実施した講座を再び開講するものです。

「社会人のためのデータサイエンス演習」講座内容

週	各週のテーマ	内容
1	データサイエンスとは	データ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較の方法を学ぶ
3	分析の具体的手法	2変数の関係や時系列データの解釈について学ぶ
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告	予測、評価、分析結果の報告と解釈について学ぶ
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために	ビジネスや組織における活用ポイントを解説
	補講・演習	Excelや統計解析ソフトRを使って実際に演習

「社会人のためのデータサイエンス演習」
受講登録はこちらから

<https://gacco.org/stat-japan2/>



とうけい通信③

晴れの国おかやまの「美味しい」をお届けします！

岡山県総合政策局統計分析課

1. 岡山県ってどんなところ？

◇人口		
総数	1,888,432人	
男	908,045人	
女	980,387人	
◇総世帯数	801,409世帯	
◇総面積	7,114.33km ²	
出典：令和2年国勢調査	©岡山県「ももっち・うらっち」	

岡山県は山陽道の中央に位置しており、東は兵庫県、西は広島県に隣接しています。南は穏やかな瀬戸内海、北は緑豊かな山々を臨むこともできます。年間降水量が少なく、日照時間が長い温暖な気候を生かし、質の高い農業が行われています。今回はその恵まれた気候の中で育った岡山の「美味しい」を、統計を利用して紹介していきます。

2. ジューシーなフルーツでお出迎え

岡山を代表する果物は、桃とぶどうです。その中でもマスカットオブアレキサンドリアは、透き通った宝石のようなエメラルドグリーンが美しく、芳醇な味と香り、爽やかさすら感じさせる甘酸っぱさが特徴です。見た目も味も気品があり、「果物の女王」とも呼ばれています。岡山での栽培は、明治19年(1886年)にガラス室で栽培を始めたのが初めです。原産地は高温・乾燥の地であり、日本での栽培は当初困難ではありましたが、先人による幾多の試行錯誤、さらにガラス室を採用したことや、温暖・多照・少雨の瀬戸内海の気候が適していたことから、栽培に成功しました。以後も多くの人が栽培技術の研究・向上を重ね、130年にわたる長い歴史と全国随一の9割以上のシェアを誇る岡山県を代表する果物となっています。



また、岡山県では10種類以上の白桃が栽培されています。岡山県は、県北部は中山間地、県南部は温暖な平野と、県内でも気候の違いが大きく、それにより同じ品種でも出荷の時期をずらしたり、また、地域により異なる品種を育てたりすることで、長期間の出荷が可能となっています。特に有名な清水白桃は、収穫時期が中元時期と合致するため、贈答用としても人気が高いです。

以上、特に人気が高い桃とぶどうについて御紹介しましたが、岡山県ではほかにもイチゴや梨、イチジク等一年を通して様々な果物が栽培されています。多くの店舗でパフェを始めとする季節ごとの旬のフルーツを使った食べ物が提供されていますので、岡山に来た時には是非味わってみてください。

3. 果物だけじゃない！岡山の美味しいもの

岡山県といえば、上記で御紹介したように桃やぶどうを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。しかし、実は、果物以外にも岡山には魅力ある特産品が多くあります。

◇特産品の栽培面積

(単位：ha)

	1位	2位	3位
黄にら	岡山県 (14)	栃木県 (1)	-
黒大豆(丹波黒)	兵庫県 (1390)	岡山県 (1115)	-
冬瓜	沖縄県 (77)	鹿児島県 (28)	岡山県 (17)

出典：黄にら…令和2年産 県農産課調べ(隔年)

黒大豆…令和3年産 県農産課調べ

冬瓜…令和2年産 地域特産野菜生産状況調査

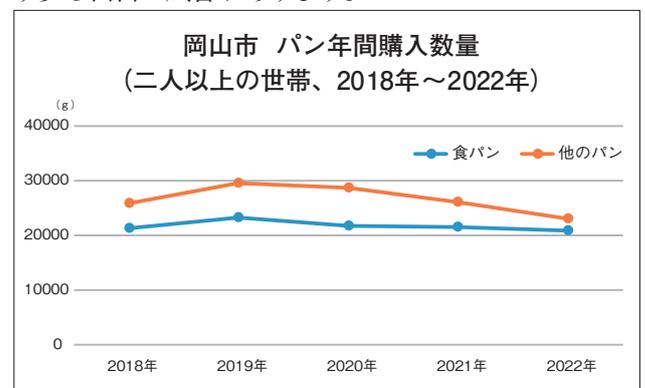
特に黒大豆は、栽培に適した気候の県中北部では、本場の丹波に負けずとも劣らない大粒で良質な黒大豆が栽培されています。また、蒜山の雄大な自然の中放牧されたジャージー牛のミルクは濃厚で栄養価が高く、風味豊かな味わいです。

4. 実はパンが好き？

さて、ここまで岡山県の特産品を紹介してきましたが、ここでは家計調査の視点から「美味しい」を見ていきます。県庁所在地であり政令指定都市である岡山市を見てみると、パンの消費が多いことが分かります。二人以上の世帯の年間支出金額では全国5位(36,013円)、年間購入数量では4位(52,641g)です。(家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(2020年(令和2年)～2022年(令和4年)平均))

また、面白いことに「食パン」と「他のパン」の年間支出金額をみると、「食パン」は26位(10,295円)に対し、「他のパン」は2位(25,718円)となっています。下記折れ線グラフも併せて参照していただくと、「食パン」より「他のパン」を好んで購入していることが分かります。

ちなみに県全体で見ると、津山市などの岡山県北部では「法事パン」と呼ばれ、法事の手土産にパンを渡す少し面白い風習があります。



出典：家計調査

今回「美味しいものが嫌いな人なんてきつといない！」という思いから、「美味しい」の面から岡山県を紹介しました。本内容を見て、少しでも岡山に興味を持っていただけますと幸いです。

最近の数字

	人口		労働・賃金			産業			家計(二人以上の世帯)		物価	
	総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
	千人(Pは万人)		万人	%	円	2020=100	兆円	円	円	2020=100	2020=100	
実数	2023. 3	124567	6699	2.8	292,546	104.8	39.4	312,758	407,185	104.4	104.4	
	4	P 12447	6741	2.6	284,595	105.5	P 31.9	303,076	452,288	105.1	105.1	
	5	P 12450	6745	2.6	284,998	103.2	P 31.6	286,443	345,527	105.1	105.1	
	6	P 12452	6785	2.5	461,811	105.7	P 33.1	275,545	725,550	105.2	105.1	
	7	P 12456	6772	2.7	P 380,656	P 103.6	...	281,736	513,069	105.7	105.5	
	8	P 12454	P 105.6	
	前年同月比			%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%
	2023. 3	-	0.2	* 0.2	1.3	* 0.3	6.6	-1.9	-5.0	3.2	3.3	
4	-	0.2	* -0.2	0.8	* 0.7	P 4.5	-4.4	-0.6	3.5	3.5		
5	-	0.2	* 0.0	2.9	* -2.2	P 4.7	-4.0	-7.4	3.2	3.2		
6	-	0.4	* -0.1	2.3	* 2.4	P 3.8	-4.2	-5.1	3.3	3.2		
7	-	0.3	* 0.2	P 1.3	* P -2.0	-	-5.0	-6.4	3.3	3.2		

(注) P:速報値 * :対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程 (2023年9月~2023年10月)

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
9月5日	統計データアナリスト研修「本科(総合課程)」開講【集合】(～12月1日)	9月26日	都道府県職員向け研修「統計データアナライズセミナー」開講【ライブ配信】
12日	管理者向けコース「統計幹部講座」開講【ライブ配信】		
15日	データ活用コース【滋賀大学との共催セミナー】「データサイエンスセミナー」開講【ライブ配信】		

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
9月1日	小売物価統計調査(ガンソリ)2023年8月分公表	10月6日	小売物価統計調査(ガンソリ)2023年9月分公表
5日	家計調査(家計収支編:2023年7月分)公表	20日	消費者物価指数(全国:2023年9月分)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2023年7月分)公表	〃	小売物価統計調査(全国:2023年9月分)公表
〃	消費動向指数(CTI)2023年7月分公表	〃	人口推計(2023年5月1日現在確定値及び2023年10月1日現在概算値)公表
17日	統計トピックス「統計からみた我が国の高齢者-「敬老の日」にちなんで-」公表	26日	住民基本台帳人口移動報告(2023年9月分)公表
20日	人口推計(2023年4月1日現在確定値及び2023年9月1日現在概算値)公表	27日	消費者物価指数(東京都区部:2023年10月分(中旬速報値))公表
〃	Statistical Handbook of Japan 2023 刊行	〃	小売物価統計調査(東京都区部:2023年10月分)公表
22日	消費者物価指数(全国:2023年8月分)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編:2023年4～6月期平均)公表
〃	小売物価統計調査(全国:2023年8月分)公表	31日	労働力調査(基本集計)2023年9月分及び7～9月期平均公表
26日	住民基本台帳人口移動報告(2023年8月分)公表	〃	サービス産業動向調査(2023年8月分速報及び2023年5月分確報)公表
29日	労働力調査(基本集計)2023年8月分公表	月内	経済構造実態調査(2022年三次集計結果)公表
〃	サービス産業動向調査(2023年7月分速報及び2023年4月分確報)公表		
〃	消費者物価指数(東京都区部:2023年9月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部:2023年9月分)公表		
10月6日	家計調査(家計収支編:2023年8月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2023年8月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2023年8月分公表		

編集発行 **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。